環境保全教育研究センター
Environmental Conservation Education and Research Center

中部大学環境保全教育研究センターとは・・・

中部大学環境保全教育研究センターは、恵那キャンパスを中心に進めてきた ESD 事業、SDGs 教育をさらに活性化する目的で「中部大学恵那 SDGs キャンパス構想（Ena Frontier research hub for SDGs）」の一環として、令和 3 年（2021年）7 月 1 日付で中部大学研修センター（図 1）に設立されました。研修センターは、岐阜県恵那市 JR 武並駅南に位置し、広さ約 34 万平方メートル、高低差 60 メートルの丘陵地にあり、50 年以上の歴史があります。毎年新入生オリエンテーションや卒業研究・ゼミ・学生・生徒の課外活動のほか、複数の教員グループに利用されており、これまでに「土岐川・庄内川源流域森の健康診断事業」、「東海丘陵要素植物の保全研究」、「地芝居等文化資源記録保存プロジェクト」、「はちみつ商品開発」等の多岐にわたる地域連携事業を進めてまいりました。環境保全教育研究センターとしても、学内組織だけでなく東農 5 市とも連携して複数の事業を行っており、JICA プロジェクト、環境省プロジェクト等の受け入れ母体にもなっています。当センターは、以下の 5 つのユニットで構成されており、自然環境・科学技術・伝統文化に関する研究テーマについて、恵那キャンパスを拠点にした活動を行っています（表 1）。

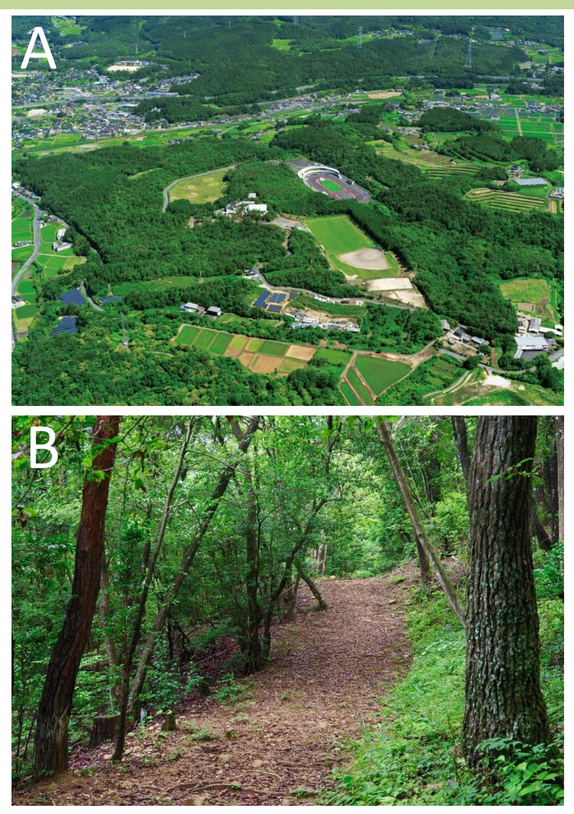


図 1. 中部大学研修センター (恵那キャンパス)
A, キャンパス全景; B, キャンパス内のトリムコース

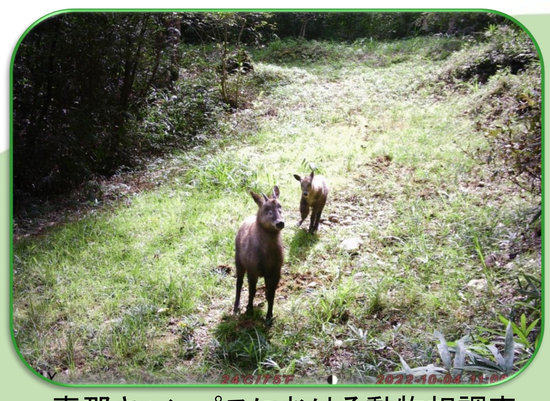
表 1. 環境保全教育研究センターの 5 つのユニットとそれぞれが掲げる研究テーマ

ユニット	研究テーマ
1. 野生生物　保全と共存	希少生物保全、新しい獣害対策
2. ゼロエミッション社会実現	イノベーションと科学コミュニケーション
3. 里山文化伝承	農村歌舞伎、古い石碑群など
4. 食文化	伝統料理継承、健康増進
5. 農業・林業再生	AI、ロボットによる人手不足改善、特産品の開発

最新情報はセンターの
ウェブサイト内で公開中です！

中部大学
マスコット
ちゅとら

センターの取り組み
5つのユニット活動



恵那キャンパスにおける動物相調査

湧昇湿地フィールドでの自然観察会

野生生物の保全と共存

航空レーザ測量による
地物高変化量

希少植物の保全 (レフュージアの森)

森林の利活用

里山サークル
現地作業を通じ、里山の生態系や森林管理、森林資源の持続的な利用に関する知識を学んでいます。

1

2

3

4

5

環境保全教育研究センター

研究施設見学

えなこどもフェスタ出展

ゼロエミッション社会
イノベーションと科学コミュニケーション

飯地納涼夏祭り出展

恵那郷土料理紹介ブックレット
「食べよまい 恵那の手しごと 土しごと」

よもぎ餅　作製中
(恵那市役所農政課の皆様と)

伝統食文化の継承

これまでに制作した出版物

飯地五毛座歌舞伎の舞台

【白浪五人男】南郷力丸

里山文化の保存と継承

飯地五毛座歌舞伎
インスタグラム

藍染め体験会

環境保全教育研究センターでは、恵那キャンパスを中心に、野生生物の保全・共存、ゼロエミッション社会実現、里山文化や食文化の記録・継承、農林業再生を軸とした教育・研究活動を行っています。